

先人学研究フォーラム

滋賀県は歴史の宝庫であり、多くの先人たちを輩出している。しかしながら、そうした先人たちを政策すなわち、まちづくりや教育に活かしているかといえは充分でないように見受けられる。そこで、滋賀大学社会連携研究センターでは昨年度に滋賀県下の自治体を通じて、県下で先人について顕彰したり、まちづくりや教育活動に活かして活動している団体を調査したところ、30 団体以上のご回答を得ることが出来た。

この調査をもとに、今年度はこうした団体間のネットワーク化を図り、また行政や経済界ともつながっていただくために先人学研究フォーラムを開催した。

先人学とは、地域の先人について学び、それをどう後世に伝え、さらには、現代の教育やまちづくりに活かすことができるか、そのために必要・有効なシステムを考える学びである。

当フォーラムは、滋賀大学社会連携研究センターをプラットフォームにして、各方面で活躍する団体や機関が一堂に集い、先人学について学びあう場である。

今年度は、(株)しがぎん経済文化センターとの共催により、滋賀県教育委員会のご後援をいただき、2017(平成 29)年 2 月 12 日(日)にしがぎん草津ビルにて下記のプログラムで実施した。

先人学研究フォーラムプログラム

- | | |
|-------|--|
| 13:00 | 受付 |
| 13:30 | 開会
主催者挨拶 滋賀大学社会連携研究センター教授 横山 幸司 氏 |
| 13:40 | 基調講演
「下田歌子がめざしたもの」 実践女子大学下田歌子研究所長 湯浅 茂雄 氏 |
| 15:10 | 休憩 |
| 15:20 | パネルディスカッション
パネリスト オレガノ 副代表 城念 久子 氏
" NPO法人高島藤樹会藤樹人間学塾塾長 田中 清行 氏
" 実践女子大学下田歌子研究所長 湯浅 茂雄 氏
コーディネーター 滋賀大学社会連携研究センター教授 横山 幸司 氏 |
| 16:50 | 閉会
共催者挨拶 (株)しがぎん経済文化センター 文化事業部長 中村 勝弘 氏 |
| 15:15 | 意見交換会 |

W. M. ヴォーリス
中江藤樹
雨森芳洲
石田三成
明智光秀

**先
人
学**

研究フォーラム

小野綾子 梶見新直 清水敏三
 宗城鉄脚 藤原高虎 近江西人
 西城崇三郎 小堀雄州 佐々木謙吾
 浅井孝三郎 甲良宗弘 三上藤川
 土川平兵衛 壽生氏壽 重松秀次
 近江兄弟社 森賀 一雄 榎本さと

⋮

先人学とは、地域の先人について学び、それをどう後世に伝え、さらには、現代の教育やまちづくりに活かすことができるか、そのために必要・有効なシステムを考える学びです。
 当フォーラムは、滋賀大学がプラットフォームになって、各方面で活躍する団体や機関が繋がっていたたくネットワークです。

お問い合わせ 滋賀大学 教育学部 企画係 (担当：藤原、永命) 〒520-0862 滋賀県大津市平津 2丁目 5-1
 TEL 077-537-7701 FAX 077-537-7840

第Ⅰ部では、実践女子大学下田歌子研究所長の湯浅茂雄先生から「下田歌子がめざしたもの」を演題に基調講演をいただいた。

第Ⅱ部のパネルディスカッションでは、オレガノ副代表の城念久子氏、NPO法人高島藤樹会藤樹人間学塾塾長の田中清行氏らに御登壇いただき、先人を活かした教育やまちづくりについて、フロアとも交流しながら議論をした。コーディネーターは滋賀大学社会連携研究センターの横山教授が務めた。

第Ⅲ部では、意見交換会を実施した。

今回が初の試みとなった当フォーラムであったが、参加者からは「先人の教えをどう伝えていか、団体の活動について大変勉強になった。」「来年度以降も続けてほしい。」等のご意見を数多くいただいた。



【実践女子大学下田歌子研究所長 湯浅 茂雄 氏】



【オレガノ 副代表 城念 久子 氏】



【NPO 法人高島藤樹会藤樹人間学塾塾長 田中 清行 氏】



【パネルディスカッションの様子】

(文責 教授 横山 幸司)